

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第38号 平成25年11月16日

光希の併殺・幹男の投球が起きた

政司の適時打が勝利を呼んだ!

	1	2	3	4	5	6	7	R
G	0	0	0	0	5	1	3	6
B	1	0	0	0	0	0		1



11/16(土) 清水ヶ丘公園野球場にて、KSC7レオ1回戦を横浜プリンティスと行った。今日は久々の参加である幹男をマウンドに上げ、決勝進出を目指す。先行は久々の我がチーム、哲也が打席に入りプレイボールとなった。マウンドに上がった投手は過去対戦の無い投手で、まっすぐとスライダーのキレが良い好投手であった。初回は三者凡退に終わり、その裏の幹男の投球、その入りはボールから、しかし、三連続ストライクで空三振に斬り上々の出来、更には、後続も見逃し三振に斬り、この回を二死とした。しかし、三番にはレフト前に運ばれ、その後二盗を許す、そして4番に先程同様レフト前に運ばれ、先制を許した。が、後続は光希の軽快な守備で最少失点に抑えた。しかし、打線は2回も三者凡退、三回においては、三者連続三振に取られ、今日も投手戦かと思った4回にゲームが動きを見せる。この回先頭打者がセンターオーバーの2ベースで出塁、後続を二飛で打ち取り一死としたが、次打者にはセンター前に運ばれ、一死一・三塁となった。失点を予想した守備陣であったが、またもや光希がショートゴロを捕球し、そのままセカンドベースを踏み、一塁に送球し、見事ダブルでこのピンチを脱した。ピンチの後には、のセオリーとおり、突如相手投手が制球を乱し始めた。この回先頭の梶原が四球を選択し出塁、後続は倒れ一死となったが、次打者達脇もこの回二個目の四球を選択し出塁する。ここで打席に入ったのは泉、初球のスイングはかなりタイミングが合っているスイング、ここでボール2つ、ストライクが1つでカウントは2-2となる。そして、5球目、体制を崩されたが何とかバットに当て打球は三塁へ、これを野手がハンプルし、一死満塁のチャンスを迎えた。そして打席に入ったのが、代打俺@政司、何と彼の打席の時にWPで梶原がホームに生還し同点、更にボールが3つ続き、四球かと思っただ、2つストライクを取られカウント2-3からの変化球を上手くバットに乗せ打球を左中間に運び、2点タイムリーで点差を広げる。先頭に打順は帰ったが、この内野ゴロの間にベースランナーは三塁へ進塁、そして二番智が、1-1からセーフティを決め、政司が三塁より生還しこの回4点目、更に次打者の時のPBで智は二塁へ進塁、ここで三番光希がきっちりセンター前に運び、一挙二塁より智が生還し、この回大量の5点を挙げ、ぐっと勝利を引き寄せた。幹男の後にマウンドに上がった達脇は、5回・6回をきっちり6人で抑え、時間により7回戦わずして今日の勝利を収めた。

今日の勝因は失点こそしたものの、4回を散発4安打で抑えた幹男の好投。そして、彼を盛り上げるかの守備陣、さらには、ここぞというタイミングで自身の役割をきっちり果たせた打撃陣が今日の勝利の要因であろう。野球は、投げて・捕って・打って・走って、最後に点を多く取ったチームの勝ち、今日は、まさにその内容が履行出来たゲームでは無いかと、感じるゲーム内容であった。この勢いを大事にし、チーム一丸KSCの頂点を目指しましょう！ただ、声を出して、選手を鼓舞するのは、いいが、往々にして、品の無い内容が聞こえる事がある。この辺は少し自重しなければ、単なる品の無いチームになってしまうので、要注意である。